

教育会だより

平成29年7月号

教育会あり方検討委員会
発行

更埴教育会ホームページアドレス <http://www.ckm.janis.or.jp/~koushokukyoku/>

更埴教育会総集会



参加者全員による「信濃の国」の合唱

5月20日(土)に更埴教育会総集会が更埴文化会館を会場に開催されました。

今年度も更埴音楽教育研究会の合唱「大地讃頌」で幕を開け、多くの先生方がステージいっぱいになり、迫力のある素晴らしい合唱を聴かせてくれました。また、参加者全員による「信濃の国」の合唱では、ステージと客席が一体となった歌声がホールいっぱいに響き

渡り更埴教育会の団結の強さを感じさせられました。

開会行事では、更埴教育会会長の清水守先生の挨拶に引き続き、信濃教育会会長代理で、信濃教育会教科用図書研究部部長の大日方秀康先生よりご祝辞をいただきました。また、先輩の先生方など多くの皆様にご来賓として出席いただきました。

本年度は会員約220名、一般参加者30名、計250名余りの参加者数でした。



清水守先生

開会行事の後は、社会科教育研究会と音楽教育研究会より昨年度の活動の様子について発表がありました。

社会科教育研究会の発表では、更埴西中学校の青木猛先生より「子どもたちが楽しかったと振り返る社会科の授業作り」を目指した教材研究、実践授業、授業研究についてのお話がありました。



社会科教育研究会



音楽教育研究会

また、音楽教育研究会の発表では、埴生小学校の坂口祐子先生より、合唱、器楽、吹奏楽の指導法の講習について、発声練習で子どもたちの歌声が変わるということや気持ちよく練習し、よい歌声を届けるということについてのお話がありました。

続いて更埴西中学校の佐久間昌彦先生より「教えて考えさせる授業～実践校に学ぶ～」と題して視察報告が行われました。また、会員意見発表では、戸倉小学校、田幸文博先生より「通級指導教室に通う子どもたち」について発表がありました。

どちらの先生も、自分の学び、経験、実践に基づいた力強い発表でした。



視察報告



会員発表

講演会

木久蔵流・笑うが一番

林家 木久蔵 さん

今年度の講演会は、落語家の林家木久蔵さんを講師にお迎えし、『木久蔵流・笑うが一番』と題してご講演をいただきました。自分の父親である木久扇さんとの親子関係のこと、また、全国にいる落語家約900名の修行や生活について盛りだくさんの内容を笑いを交えてお話いただきました。真打ちになるまでに最低15年はかかること、そのうち最初の5年間は、気遣い気働きを学ぶ修行期間であること、笑いと健康との関係が科学的に研究されはじめていることなどのお話もいただきました。そして、最後には、高座での落語を披露していただきました。

今までの講演会とは少し趣の違う、心和やかな中での講演をお聴きすることができました。

新入会員歓迎会・懇親会

総集会終了後、更埴教育会館において新入会員歓迎会・懇親会が行われました。本年度も昨年度同様、新入会員を含め総勢100名余の参加があり、教育会館の2階は熱気であふれていました。日頃なかなか話す機会がない他校の先生方と情報交換をしたり、来賓・顧問の先生方とじっくり話をしたりするなど、参加者にとって大変よい機会となりました。



懇親会出席の会員・新入会員のみなさん

